

# 区民のいのちと暮らし、財産を守るために



本会議で代表質問する風見議員

## 東日本大震災を教訓に質問

選挙後初の定例区議会が開かれました。党区議団は、代表質問(風見)、一般質問(沖島)で東日本大震災を教訓に、区民のいのちと財産を守ること、福島原発の事故による放射能汚染から生命を守る施策展開を求める質問をしました。質問の一部を紹介します。(質問の全体と詳細はホームページか、区議団に問い合わせ下さい。)

また、福島原発の事故による放射能から子ども達を守るため、保育園保護者を中心に「子どもたちの安全対策に関する請願」が提出され、全会一致で採択されました。六本木5丁目のマンション建設に係わる請願、南麻布4丁目の安全な通行と防災に関する請願が提出され、いずれも全会一致で採択されました。いずれの請願も全員が紹介議員になったのは党区議団だけです。請願採択にも力を尽くしました。

### 「津波」・「液状化」対策は緊急課題

- ①防災訓練に「津波」を想定したものを加える。  
 ②「津波避難ビル」をつくる。  
 ③企業などと「津波避難ビル」の協定を結ぶ。  
 ④古川に水門の設置を関係機関に要請すること。  
 ⑤液状化対策を行うこと。

### 高層住宅の防災対策の支援を

「高層住宅等の震災対策要綱」に基づき、①安心して住める対策を業者

- にしっかりと約束させる。  
 ②対象を6階以上、戸数を50戸以上にする。  
 ③防災アドバイザーの派遣だけでなく、資金面の支援も行うこと。  
 ④自己責任にせず、自治会や防災住民組織に対して、備蓄物資や防災資機材の支援を行うこと。  
 ⑤すでに分譲したマンションについては、備蓄物資や防災資機材を備えるため、マンション販売業者にも



一定の負担を要請すること。

### 利用しやすい避難所(学校)の準備を

- ①第一次避難場所の学校は、機械警備とあわせ人的配置を行うことや、ガスがとまることを想定し、給食施設は、プロパンガスでも使えるように改善すること。  
 ②介護の必要な人が安心できる施設を確保すること。  
 ③女性が安心して避難生活ができるよう、更衣室や授乳室、オムツ替え室を設置すること、ほか。

### 子ども達を放射能から守るために

- ①小・中学校、幼稚園、保育園、児童館、公園などで放射線量について定時定点の測定を実施し、結果を公表すること。その際、地表近く、50センチメートル、1メートルの高さを測定すること。  
 ②草花や樹木について測定する。  
 ③土壌汚染調査

## 3つの“ゼロ”の実施を迫る

### 保育園の待機児童をいつまでに解消するのか

この4月に公立保育園に入園できなかった方は893人。待機児解消は区長の公約。いつまでに解消するのか、明確にすべき。

### 特別養護老人ホームの建設は待ったなし

407名もの待機者解消には、建設計画を作成し、建設に着手すべき。多床室も含めた計画を。

### 75歳以上の医療費を無料に

高齢者に長生きをしてもらうためにも、医療費削減のためにも、早期発見、早期治療が大切。75歳以上の医療費を無料に。

## なんでも相談会

☆毎月第3月曜日、午後6時30分より 青山福祉会館 を予定  
 ☆事前にご連絡いただくと幸いです。☆連絡先…風見宅Tel3400-5015 控室Tel3578-2945

Email ●kazami@jcp-minatokugidan.gr.jp  
 HP ●http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp/

政治革新の道しるべ  
 真実つたえ希望はこぼ

**しんぶん 赤旗**  
 日刊●月2,900円  
 日曜版●月 800円

風見利男  
 (日本共産党  
 港区議会議員)

区政とあなたを結び

区政とあなたを結び

149

宜、適切に行うこと。  
 (その他の主な質問項目)

- 「災害時要援護者」を地震被害から守れ
- 緊急時の伝達を確実に
- 避難所(福祉避難所)での指定管理者の役割を明確に
- 3・11を教訓に帰宅困難者対策を
- 東日本大震災の被災者支援について
- 小・中学校での震災等の帰宅のあり方を明確に
- 「災害時要援護者」対策は万全に

**「映画館より暗い」と指摘される  
国道、真っ暗で危険**

**住民と風見区議の指摘で  
青山通りの歩道街灯が点灯**



点灯された歩道の街路灯

や一部の国道は、車道も歩道も街路灯を点灯しないこと(交差点は一部点灯)や会社やお店が照明をおとしたり、早じまいで、夜になると真っ暗です。自転車と歩行者がぶつかり、3週間も入院する大事故が発生するなど、接触事故も増えています。

46号線(通称・青山通り)

NHKも取材。記者が照度計で青山通りを測った結果「1ルクスで、映画館

**日本共産党区議会議員の  
常任委員会、特別委員会の所属**

(常任委員会)	
総務常任委員会	○沖 島 えみ子
保健福祉常任委員会	◎熊 田 ちづ子
建設常任委員会	風 見 利 男
区民文教常任委員会	大 滝 実
議会運営委員	風 見 利 男
(特別委員会)	
交通・環境等対策特別委員会	熊 田 ちづ子
行財政等対策特別委員会	風 見 利 男
まちづくり・子育て等対策特別委員会	大 滝 実
	沖 島 えみ子
防災・エレベーター等対策特別委員会	大 滝 実
	熊 田 ちづ子

**日本共産党港区議員団の  
役割分担が決まりました**

議員団長	熊田ちづ子
幹事長	風見利男
副幹事長	大滝実
事務局長	廣瀬邦治

よりも暗い」ことが判明。実際に夜の青山通りを車で走ったり、自転車にカメラをつけて走った映像を放映していました。自動車も自転車も「あわや大事故」：危険がいっぱいです。

**原発事故の放射能から子ども達を守るための  
請願、全会一致で採択**

保育園の父母を中心に、福島原発の事故による放射能汚染から「子ども達の安

全と健康を守るため、区独自の万全な対策を求める」請願が提出され、傍聴席いっぱいのお母さん達が見守るなか、全会一致で採択されました。

党区議団は、区長への「緊急申入れ」や6月議会の代表質問などで、公園や学校などでの放射能測定など「放射能対策」の実施を提案してきました。その内容と共通することが請願には盛り込まれています。

**非常時だれでも  
開けられます**

**赤坂図書館の  
非常階段**

るよう質問しました。区もだれでも「使えるようにするべき」と非を認め、ビルの管理会社と話し合いをすすめて、非常時、だれでも開けられるように改善されました。

赤坂図書館は、ビルの3階にあるため、利用者はエレベーターを使っています。火事など災害が発生した場合、エレベーターが使えなくなるため、非常階段を使って外に出ることにあります。しかし、赤坂図書館の非常階段は、ビルの中央管理室が開閉の操作しなければ開かないことが風見区議の調査でわかりました。



誰でもあけられるようになった非常階段のドア

**六本木5丁目の環境  
を守るためマンション  
建設計画の見直し  
を  
風見委員の奮闘もあり、  
全会一致で採択**

今議会に「(仮称)港区六本木5丁目計画に関する請願」(請願代表者:六本木町会会長:谷口光一氏ほか2011名)：請願要旨は、「単身者向け住戸建設等の計画内容は、周辺地域の環境に悪影響をもたらす

ことは明らかであり、計画説明会の対応を含め不安、危機感を抱いているため、建築主等に対し、納得するまで話し合いの場を持ち、合意形成がなされるよう区議会から指導されたい」というもの。また「(仮称)港区六本木5丁目計画に関する請願」(請願代表者:東洋英和女学院理事長:池田守男氏ほか640名)も提出され、全会一致で採択されました。

この計画では、業者が「また説明会を開催します」と約束しているにもかかわらず、「説明書報告書」を受け取ってしまったため、説明会は終わったことになってしまっています。風見委員は、このことを指摘し、説明会は済んでいない、区民の立場に立ち指導するよう質問。担当課長は「(紛争予防条例の趣旨にそって)きちっと話し合いをするよう業者を指導する」と約束しました。

「質問や」要望は区議団へお気軽に「連絡ください」